

議会改革特別委員会 行政視察報告書

【視察日】令和7年10月27日（月）～令和7年10月28日（火）

【視察委員】大石 保幸委員長、山川 智己副委員長、川島 美希子委員、大石 心平委員
石井 通春委員、八木 勝委員、油井 和行委員、遠藤 久仁雄委員

【視察先】（1）東京都多摩市議会 （2）千葉県成田市議会

【調査事項】（1）議会改革の取り組みについて

①議会基本条例の検証 ②政策サイクル ③子ども議会探検 ④議会報告会

（2）議会改革の取り組みについて

①議会基本条例の検証 ②議会DXの取り組み

【東京都多摩市議会】

(1) 市の概要

多摩市の市制施行は昭和46年で、ニュータウン等の団地が形成され現在人口約14万6千人。

多摩市議会は定数26名。他市議会の事例を参考にしながら議会改革に積極的に取り組み、平成18年の全国市議会議長会研究フォーラムで事例発表を行うなど、早くから先進的な取り組みを実施。平成22年に議会基本条例を制定し最新の議会改革度ランキングでは全国総合39位。



(2) 調査事項について

①議会基本条例の検証について

多摩市議会は議会基本条例に「おおむね4年ごとに検証する」と定め、検証サイクルを作成して丁寧な取り組みを実施している。4段階（A～D判定）の評価で、会派で意見集約をし議論は議会運営委員会で行う取り組みは次期の検証の参考にしたい。

②政策サイクルについて

「決算と予算の連動」を議会基本条例に明記しており、事務事業評価の政策サイクルを平成17年度から実施している。評価する際に使用する「事業評価カルテ」には、人件費についても記載しており、決算審査の前には代表監査委員による監査内容の講評も実施している。分科会ごとに勉強会を開催するなどの取り組みは本市でも参考にしていきたい点である。

③子ども議会探検について

小学4～6年生が対象。スライド資料による学習や議会探検、議員が答える模擬議会を行い議会の仕組みや政策決定の流れを体験し、最後に認定証を授与。

④議会報告会について

議会報告会を「情報共有と市民意見の把握」の場として議会基本条例に記載。意見を政策や委員会提案の条例に結び付けていくフロー図を作成済み。議会報告会とは別に常任委員会ごとに各種団体との意見交換会も実施。

(3) その他

「すべての会議を公開する」との議会基本条例のもと、議会運営委員会をはじめ常任や特別委員会等は YouTube を利用して配信されている。

代表的な議会の取組みは議会基本条例に基づいて実施されており、本市においても活動の根本に議会基本条例を据えていく必要性を改めて感じさせられた。

【千葉県成田市議会】

(1) 市の概要

明治4年の廃藩置県後、数度にわたる所管の変遷を経て、昭和29年3月31日に1町6か村の合併で成田市が誕生し、さらに平成18年3月27日に下総町と大栄町との合併により人口約12万人の新生・成田市が誕生した。

昭和53年5月20日の成田国際空港開港によって年間航空旅客数3,000万人を超える日本の空の表玄関となり、かつての田園観光都市であった成田は、信仰のまちとしての顔に加え、交通・経済・文化の各分野における国際交流の拠点として、国際交流都市の顔を持つまちへと大きく変貌を遂げている。

成田市議会は、定数30名。議会基本条例は平成27年4月に制定し、最新の議会改革度ランキングでは全国総合173位。



(2) 調査事項について

①議会基本条例の検証について

4年に一度のサイクルで過去に2回の検証を実施し今年度に3回目の検証を実施中。議員任期の3年目に検証シートにより各条項の実施状況を確認・評価し、4年目に検証結果を基に必要に応じて条例改正を協議するという流れが確立されている。

検証は条文の内容により3分科会（A・B・C）で実施する。議会の機能強化については議会運営委員会がA・B分科会を、広報広聴に関する条項についてはC分科会で広報広聴委員会が担当して行われる組織体制になっており、検証方法として検討したい取組みである。

検証は5段階評価 1：未着手・2：一部着手・3：一部達成・4：概ね達成・5：十分達成

②議会DXの取り組み

タブレット端末の導入は令和7年4月からだが、令和5年6月に「議会DX推進検討会」を設け丁寧な議論を行なった上で機種を選定し、導入前後の研修を事前に計画するなど導入時期から逆算して進めている姿勢は大いに見習うべき点である。

(3) その他

過去2回の議会基本条例の検証では条文の見直しはされなかったとの事。各条文には条例策定時に協議を重ねられた議員の想いも込められているものでもあり、条文の見直しにおいては今後も念頭に置いておくべき点だと感じた。

議会報告会をオンラインで開催したところ、自宅から参加できたこともあり子育て中の母親など、これまで参加されなかった層の参加が見られた。本市でも多様な開催形式を検討していければと思う。